

なぜ「家庭の日」

現代の日本の家庭は、共働きや父親不在の家庭が多く、家族のふれ合いの時間が少なくなっているのが現状です。

子どもたちを健全に育てるにはどうしたらよいのか、また、仕事に追われて忙しい中で不足がちな夫婦、親子、祖父母の話し合いを

活発にし、家族の絆を強めるためにはどんな工夫ができるかを考えてみる必要があると思います。月に一度ぐらいは、自分たちの家庭について家族全員で考えてみようというのが「家庭の日」のはじまりです。

毎月第一日曜日は「家庭の日」

心身ともに健やかな人づくりのもとになるのが家庭です。また、

「いこいの場」「やすらぎの場」となることも家庭です。都留市では、家族みんなで心のふれ合う明るい家庭をつくるために、月の第一日曜日を「家庭の日」と定めています。

様々な情報があふれ、物は豊かだが心の貧しさが指摘されている今、心を新たに「家庭の日」の意義をみんなで考えてみることは必要であると思います。

こんな家庭をつくりましょう

◎なんでもいえる家庭

秘密や遠慮があるときびしいものです。『なるほど、おまえの気持ちもわかるよ』そこから出発し、家族みんなが話し合うようにしましょう。

◎たえず前進する家庭

健康に気をつけて、常に希望を持ち、こんな人間になろう、こんな仕事をしようと努力するよう心がけましょう。



◎生活を楽しむ家庭

動物の飼育、花の栽培、レクリエーションなど、みんなで楽しむ心にするおいを与えてくれるようなことを何か考え実行しましょう。

◎教育の場となる家庭

ともに失敗を反省しながら、少

◎共に働く家庭

家族でよく話し合い、仕事を分担して実行しましょう。そこに責任感が生まれ、物事をやりとげた自信も育ちます。

◎あいさつのできる家庭

あいさつをかわすことにより、人の心と心をつなげるきっかけが得られます。「おはよう」「はい」「ありがとう」などごく自然にあいさつをかわしましょう。

次に小学校三年生の女の子の作文の一部を紹介します。

わたしの家では、毎週土曜日を「楽しい食事の日」ときめています。そして、ひとりですむおばあちゃんの家に行き、みんなで食事をします。お母さんとおばあちゃんがそうだんして、食事のよういをします。わたしも、おいしいものをむいたり、コロッケづくりのお

てつだいをします。手にパンがいたりして、とてもおもしろいです。妹もつたうので、テーブルの下はまっ白です。でもおばあちゃんはいりません。

いつも帰りのおそいお父さんも、その日は食事にまにあうように帰って来ます。学校のことや友だちのこと、しんせきのことなどいろいろ話します。

食事が終わった後、おばあちゃんに本を読んでもらったり、あやとりなどをして遊びます。一週間で「ばん楽しい「食事の日」です。

この作文からは、お手伝いのようす、おばあちゃんを囲んで家族の心ふれ合う様子がわかり、楽しい雰囲気がいじみ出ています。あまりむずかしく考えず、それぞれの家庭に合ったもの一つでも実践するよう心がけましょう。

青少年健全育成標語の募集

11月は、全国青少年健全育成強調月間です。都留市でも「青少年健全育成推進大会」が開催されることになっています。

これを機会に、市民のみなさんから「標語」を募集します。

◎趣旨 青少年が社会における自らの役割と責任を自覚し、広い視野と豊かな情操を培い、非行に陥ることなく、心身ともに健やかに成長することは、市民すべての願いです。青少年の健全育成について、理解と認識を深め、日常的にこれに取り組む、参加し、行動するよう気運の高揚を図る。

◎方法 ハガキまたはハガキ大の用紙に作品1点を記載し、10月11日までに、市民会議事務局(中央公民館内)か教育委員会に届けてください。小・中学生は学校で結構です。1人3点を限度とします。

◎表彰 成人・高校生・中学生・小学生の四部門に分け、各部門ごとに、優秀・1点、佳作・2点を11月8日の「推進大会」で表彰します。

◎主催 都留市青少年総合対策本部
市教育委員会
青少年のための都留市民会議

第5回 市民フォーラム

期 日 9月22日(日)
午後2～4時
会 場 富士女性センター3階
大研修室
テ ー マ 「まちづくりのデザイン」
基調講演 「ふるさとづくりのデザイン」
講 師 望月 幸明氏
(前山梨県知事)

寄付

問合先 SANTIキャンパス
タウン都留を創造する市民の会
事務局 奥 隆行
☎(43)3132
文化ホール建設費の一部に
都留女性合唱団「泉」
代表 重原千恵子
十万円